



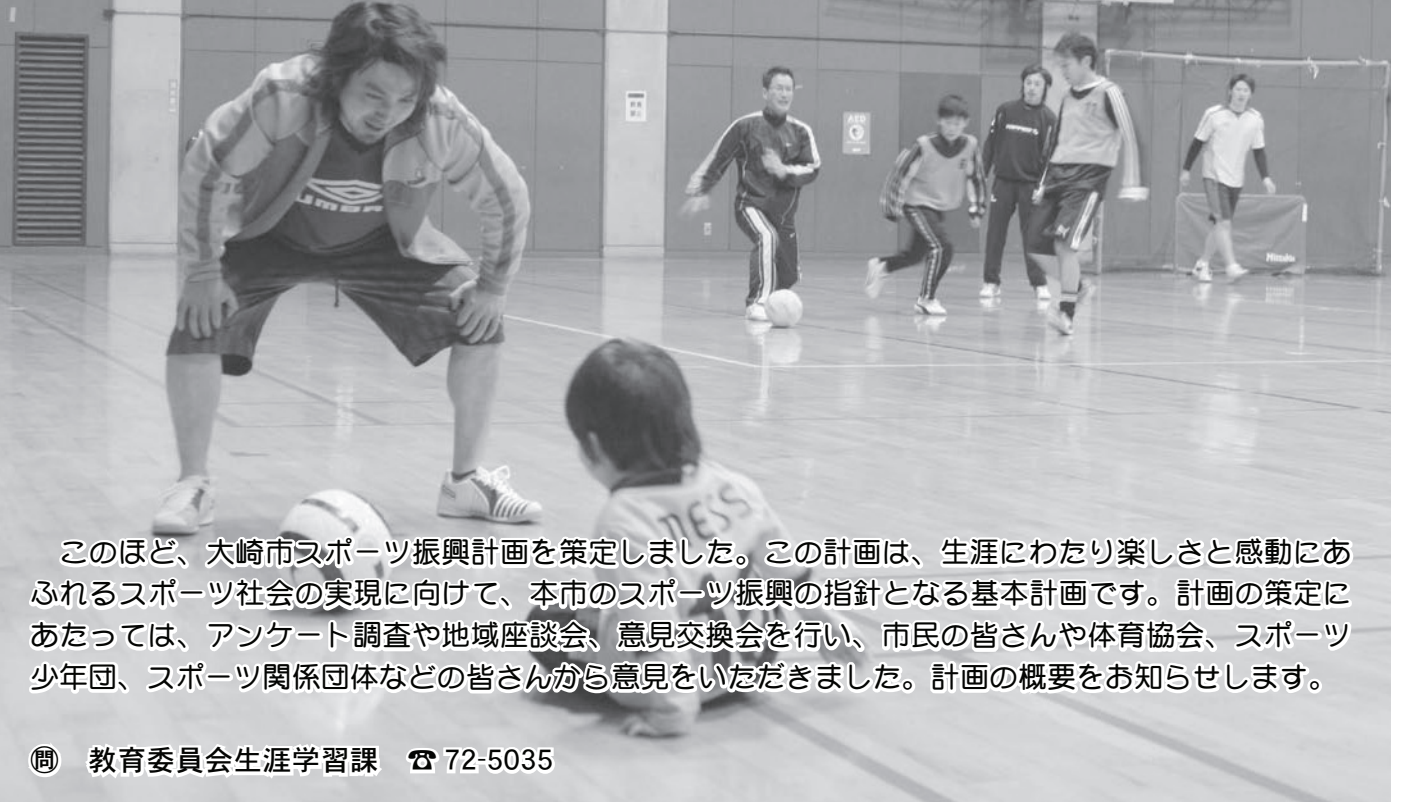
「地域スポーツマネジャー」を配置します。
市民・地域密着型スポーツイベントの開催
 大崎市全体を対象としたスポーツイベントを開催し、本市の一体感を作り出します。地域の特色を生かしたイベントを各地域で開催します。
親子対象のスポーツ教室の開催
 幼児や小学生とその保護者を対象としたスポーツ教室を開催し、スポーツの楽しさや喜びを感じてもらいます。
総合型地域スポーツクラブの設立支援と連携
 だれもが継続的にスポーツを楽しめる環境をつくるため、地域の人たちが主役となり、自主的な活動を行うスポーツクラブが「総合型地域スポーツクラブ」です。
 市では、各地域のスポーツ振興を活性化するため、総合型地域スポーツクラブの設立に向けた支援を行い、既存クラブと連携したスポーツ事業の展開を図ります。
競技スポーツ指導者の育成と活用、大会の開催や出場支援
 日本の第一線で活躍していたスポーツ選手などを招き指導者研修会を実施し、指導者の資質の向上を図ります。
 スポーツ関係団体と連携し、指導者や審判員等の派遣

を行える体制を整備します。
 競技スポーツ大会の開催や出場を支援し、競技力の向上を図ります。
2スポーツを通じた心身共に健やかな子どもの育成
【基本目標】
 小中学生の体力運動能力調査の結果が県の平均値を上回るようにします。
【重点施策】
持久力のある子どもの育成
 本市の小中学生の体力運動能力調査の結果、国や県と比較して著しく低下している「全身持久力」の向上を目指し、楽しみながら長く続けられる有酸素運動や、運動と休息を交互に繰り返すインターバル的な運動などを積極的に取り入れ、全身持久力のある子どもの育成に努めます。
小学生スポーツ大会や記録会の開催
 スポーツ活動の成果を試すことができる、小学生対象の大会や記録会を開催します。
学校施設の開放や公共スポーツ施設利用の充実と指導者の派遣
 放課後や休日に学校の体育館や公共スポーツ施設を利用して子どもがスポーツできる環境を整え、関係機関と連携し、指導者を派遣します。

地域指導者人材バンクの作成
 地域のスポーツ指導者の情報を収集・整理し、学校の要請に対応できる部活動指導の人材紹介などを行います。
スポーツ指導者の育成と活用
 子どものスポーツ指導や、サポートできる地域の人材の育成・活用を図ります。
3みるスポーツ・支えるスポーツの環境整備
【基本目標】
 全国レベルのスポーツ大会やイベントを誘致します。
【重点施策】
各種大会やイベントの誘致
 各種大会などでスタッフが経験を積み全国的な大会やイベントの誘致につなげます。
地域や企業等と連携したスポーツ振興体制の構築
 市民の皆さんが日常的にスポーツを楽しめるように、市のスポーツを応援するスポンサー企業の獲得に努めます。宿泊を伴う大会や合宿などを誘致するため、旅館やホテルと連携を図ります。
スポーツ情報データベースの整備
 市内のスポーツクラブやサークルの紹介、スポーツ情報を提供し、スポーツへの参加意欲の向上を図ります。

ノーマライゼーションによるスポーツ関連事業の推進
 ノーマライゼーション（高齢者や障がい者、健常者が助け合いながら生活するという考え）のもと、関係機関と連携・協力し、事業の推進や指導者の手配などを行います。
4スポーツ施設の整備充実
【基本目標】
 施設の有効活用・整備充実を図ります。
【重点施策】
スポーツ広場および施設の整備・有効活用
 気軽に利用できるスポーツ広場を整備し、施設整備や改修を計画的に行い、大きな大会の誘致につなげます。
 また、既存のスポーツ施設や学校などを有効活用し、市民が気軽にスポーツを楽しめる場を確保します。
スポーツ用具や器具の充実
 市内各施設のスポーツ用具や器具の充実を図り、市民のスポーツ環境を整えます。
利用手続きの簡素化
 公共施設予約システムの導入を視野に入れ、施設間のネットワーク化を進めます。
指定管理者制度導入の推進
 指定管理者制度の導入を推進します。

元気・笑顔・感動をあたえる スポーツの「まち」を目指して ～大崎市スポーツ振興計画策定～



このほど、大崎市スポーツ振興計画を策定しました。この計画は、生涯にわたり楽しさと感動にあふれるスポーツ社会の実現に向けて、本市のスポーツ振興の指針となる基本計画です。計画の策定にあたっては、アンケート調査や地域座談会、意見交換会を行い、市民の皆さんや体育協会、スポーツ少年団、スポーツ関係団体などの皆さんから意見をいただきました。計画の概要をお知らせします。

☎ 教育委員会生涯学習課 ☎ 72-5035

社会経済の低迷、少子・高齢社会の急速な進行など激変する社会情勢の中で、スポーツを取り巻く状況も急激に変化してきました。
 また、人々のスポーツへの価値観が多様化し、従来の競技スポーツに加え健康づくりや生きがいづくり、仲間づくり、あるいはレジャーやレクリエーションの一環として、さまざまな方面からスポーツへの期待が高まっています。
 未来を担う子どもたちの体力・運動能力の低下が心配される昨今、本市では「楽しさと感動にあふれるスポーツ社会の実現」を目指します。
計画の基本方針
 「市民のだれもが、いつでも、どこでも、生涯にわたってスポーツに親しめる環境を整備します」
 市民一人ひとりが生活の中で生涯にわたって明るく楽しくスポーツができるよう、地域やスポーツ関係団体、企業、学校、行政などが協力してスポーツ環境を整備します。
スローガン
 「元気、笑顔、感動 スポーツフィールドおさき」
 みんながスポーツで元気になる、コミュニケーションを

とることで笑顔が生まれ、感動を覚える。「スポーツのまち大崎」という考えを、みんなで共有していきます。
計画の要旨
 1.生涯にわたりスポーツに親しめる環境の整備
【基本目標】
 成人の週一回以上のスポーツ実施率を二人に一人以上にします。
 国民体育大会などの全国大会で活躍する選手を恒常的に輩出します。
【重点施策】
地域協働型スポーツ振興システムの構築
 地域と市が目的を共有し力を合わせてスポーツ振興を推進する「地域協働型スポーツ振興システム」を構築します。
 行政区または小学校区単位でスポーツ活動を行う際に活躍する「お世話役をする人材」を育成するとともに、各地域に「地域スポーツ連絡会」を設置して、スポーツ関係団体、地域団体、学校などと連携を取りながら、各地域のニーズや特性に応じたプログラムを提供して、スポーツに親しむ市民の増加を図ります。
 また、各地域のスポーツを推進する中心的存在を担う